



**福井県知事杯第8回福井県剣道選手権大会
面の奥の鋭い眼光**

6月26日、今庄中学校体育館で福井県剣道連盟主催の第8回福井県剣道選手権大会が開催されました。この大会は、全日本剣道選手権大会（男子）および全日本女子剣道選手権大会の選手選考会を兼ねており、男子43人、女子30人による熱戦が繰り広げられました。本町からも男女各3人ずつの剣士が出場。地元での開催ということもあり、一本取るたびに観戦席からは大きな拍手が贈られていました。残念ながら、本町選手の上位入賞はありませんでしたが、観客らに鳥肌の立つような真剣勝負を披露してくれました。



**産地直送！「山海里」軽トラ市
もぎたて、とりたて、町の魅力の発信市**

6月25日と26日の2日間、北陸自動車道南条サービスエリア（上り線）で産地直送！「山海里」軽トラ市が開かれました。これは、町内でとれた新鮮な野菜や海産物、おろしそばなどの名物を販売、町の魅力をアピールするもので昨年に続いての開催となりました。この日は30℃を越す蒸し暑い日。立ち寄った観光客は、見た目も涼しげな今庄そばや香ばしい香りのアユの塩焼きに舌鼓。お土産にはアジの開きなどの海産物や米粉が人気で、次々と買い求める客で賑わいました。

【クイズ】アユとアジ「漢字で書けるかな？」（答えは裏表紙）



**第19回はすまじり
可憐にして壮観**

7月2日、花はす公園で、第19回はすまつりが開幕しました。オープン式では、テープカットとくす玉割りが行われ、8月7日まで開催されるまつりの開幕を祝いました。

広さ約3.3ヘクタールの花はす公園では、日本、中国、ベトナム、ロシアなど世界各地の花ハス約130種を栽培。今年の開花は6月27日と例年よりやや遅めでしたが、日が経つにつれ徐々に色とりどりの花を咲かせていました。訪れた人たちは、園内を散策しながら、ピンク、白、赤紫と可憐に咲く大輪の花々をカメラにおさめたり、のんびり眺めるなど思い思いに楽しみました。そのほかにも、ハスの葉に穴を開け茎からジュースを飲む象鼻杯、ハスの繊維を使った色紙作り、花ハスを背景にモデル撮影会などのイベントや「はすうどん」「はすソフトクリーム」はするそうそく」などハスを使った食べ物やお土産も人気を集めました。

7月16日には、花はす灯ろう実行委員会などが作成した「花はす灯ろう」が展示・点灯。今年も、東日本大震災の犠牲者に哀悼の意をささげる祈りの広場を設置。花はすミニ灯ろう流しもあわせて行われ、琴と尺八の生演奏の中、幻想的な雰囲気になりました。

これから8月上旬にかけて、金輪蓮（きんりんれん）、瑞光蓮（すいこうれん）、浄台蓮（じょうたいれん）などが見ごろを迎えます。もっしばらくの間、花ハスを楽しむことができます。





今庄D51直売所オープン 新鮮食材、食卓へ…出発進行!

今庄総合事務所駐車場の一角に農産物直売所「今庄D51(デゴイチ)直売所」が完成。7月2日、川野町長や管理・運営する今庄園芸生産組合員ら関係者約20人が出席してオープン式が行われました。

式の終了後、営業が開始。店内には、今庄産のトマトやキュウリなど色とりどりの夏野菜が並び、早速買い物客で賑わいました。

直売所の名称は、今庄の歴史を支えた蒸気機関車にちなんだもの。田中組合長は「今庄地域の地産地消の拠点として地域の活性化につなげたい」と話されました。

営業時間 午前9時～午後5時

定休日 毎月第2・第4火曜日

ホタル飛翔観賞会

来年もこの場所へ戻ってみたい

7月2日、ホタル飛翔観賞会が開かれました。これは、今庄地域に数多く生息するホタルを活用し、地域活性化に結びつける『ホタルの郷づくり推進事業』の一環として開かれたもので、約20人が参加しました。

今庄総合事務所で、福井県ホタルの会顧問の草桶秀夫さんより「ホタルまめ知識について」と題した事前講演を聞いたあと、現地の田倉川沿線へ移動。無数のホタルが幻想的な光を放って舞う様子に参加者らは「いっぱい飛んで。昔と変わらさずきれいな水がある証拠だ」と感動しきりでした。

全国モーターボート競走施行者協議会助成事業



南越前町自警消防隊連絡協議会 小型ポンプ操法大会

自分のまちは自分たちの手で!

7月3日、南越前町自警消防隊連絡協議会の小型ポンプ操法大会が、今庄中部地区農業集落排水処理施設前の広場で行われました。この大会は、自警消防隊員の士気の高揚と初期消火のための必要な技術の習得、隊員相互の融和協調、消防体制の充実強化を目的に毎年行われ、今回は11集落から14チームが参加、日頃の訓練の成果を競いました。

操法は、指揮者の号令に合わせて3本のホースをつなぎ、的に向けて放水するもの。どのチームも全力で走り、素早くホースをつなぐなど培った技術とチームワークを披露。審査員がその動作の規律や正確性、タイムなどを採点しました。

結果は次のとおりです。

優勝 桜町自警消防隊A

次勝 脇本自警消防隊

3位 上野自警消防隊A

優秀隊 桜町自警消防隊B
八飯自警消防隊

また、火災の予防警戒、地域における防災活動に功績があったとして、次の自警消防隊と隊員が表彰を受けました。

優良隊 上野自警消防隊

桜町自警消防隊

優良隊員 藤本 昌則(八飯)

(事務局より)

当日は皆様、暑い中お疲れさまでした。今後もふるって参加してください。



**第61回、社会を明るくする運動、
法務大臣メッセージ伝達
ひまわりのように明るく、力強く**

7月の「社会を明るくする運動」強調月間に合わせ、役場で4日、法務大臣メッセージ伝達が行われました。

この日は、越前地区保護司会宗近惣助会長ら会員20人が訪問。宗近会長から「多くの地域住民の方々の理解と参加を得て活発に行われますようご協力を」という江田五月法相のメッセージを読み上げ、川野町長と向瀬議長に手渡しました。

川野町長らは「希薄になってきている地域社会の絆の大切さを今一度確認したい」と受け取り、安全で安心して暮らせる明るい社会の実現を誓いました。

海開き

涼を求めて…

7月7日、あいにくの雨の中、河野海水浴場で河野観光協会清水政彦会長ら約30人が出席し、海開きが行われました。

清水会長が「節電の夏。涼を求めて、一人でも多くの人に訪れてもらいたい」とあいさつ。神事の後、関係者が花束を海に投げ入れ、シーズン中の安全とにぎわいを祈願しました。また、河野保育園の園児らが「河野の海が大好きです。ゴミを捨てたりしません」と元氣よく海に誓い、手にした風船を空高く飛ばしました。

★チェック★

浮島が出現！海水浴場で探してみてね!!



**誠蓮(まことばす)初出荷
朝日に輝く桃色の花**

7月10日の早朝、堂宮、金粕、上野の花ハス生産農家で、「誠蓮」の刈り取り作業が行われました。誠蓮は、農家9軒で約13ヘクタールのハス田に作付けられており、花弁が多く、花が長持ちするのが特徴。農家の人たちは、背丈ほどもある葉をかき分けながら、桃色のつぼみを傷めないよう一本一本丁寧に鎌を入れていました。

今年は、大雪の影響で土の温度が上がらず生育が遅れていたが、最近の夏日続きで一気に盛り返し、例年以上の出来とのこと。刈り取り後は、各農家で特大、大、中のサイズごとに20本ずつ束ねて箱詰め。午後4時に新盆用として約4万本を出荷しました。

ウォーターランド夏祭り

水辺で過ごす夏の夜

7月17日、ウォーターランド夏祭りが行われ、多くの家族連れらで賑わいました。

芝生広場には、焼き鳥やおそろしそばなどの模擬店が出店。暑かったこともあり、かき氷やジュースが飛ぶように売っていました。また、ステージでは、南条中学校和太鼓部の演奏をかわきりに、ウォーターランドスタジオ教室のストリートダンス、龍神太鼓などが披露され、暑さを吹き飛ばすようなステージ発表に観客からは大きな拍手が贈られました。日が沈むころには、お楽しみ大抽選会も行われ、訪れた人たちは夏の夜を楽しく過ごしました。